

女性の再チャレンジ支援を目的とした SNS の構築

徳野 淳子[†] 櫻田 武嗣[†] 萩原 洋一[†] 秋田 カオリ^{††} 寺田 松昭^{†††} 宮浦 千里^{††}

[†]東京農工大学 総合情報メディアセンター
^{††}東京農工大学 女性キャリア支援・開発センター
^{†††}東京農工大学 大学院 共生科学技術研究院

〒184-8588 東京都小金井市中町 2-24-16

E-mail: ^{†,††,†††}{j-tokuno, take-s, hagi, akitan, m-tera, miyaura}@cc.tuat.ac.jp

あらまし 東京農工大学では、文部科学省の「女性研究者支援モデル育成」事業に提案した課題が採択され、様々な女性研究者を対象とした支援活動を開始している。我々は、この活動の一つとして、本学の女性卒業生に対する出産・育児後の再就職支援や、再就職へ向けてのブラッシュアップ（知識や技術の磨き直し）支援を目的とした SNS を構築した。本稿では、構築した「農工大 SNS」について紹介するとともに、女性卒業生への再チャレンジ支援としてどのような機能が望まれるかについて述べる。

キーワード 女性卒業生支援, 再チャレンジ, 再就職, ブラッシュアップ, ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS), XOOPS

Development of a Social Networking Service for Supporting Alumnae's Re-challenge

Junko TOKUNO[†] Takeshi SAKURADA[†] Yoichi HAGIWARA[†] Kaori AKITA^{††}
Matsuaki TERADA^{†††} and Chisato MIYAURA^{††}

[†]Information Media Center, Tokyo University of Agriculture and Technology,

^{††}Women's Career Support Center, Tokyo University of Agriculture and Technology,

^{†††}Institute of Symbiotic Science and Technology, Tokyo University of Agriculture and Technology

2-24-16 Naka-cho, Koganei, Tokyo, 184-8588 Japan

E-mail: ^{†,††,†††}{j-tokuno, take-s, hagi, akitan, m-tera, miyaura}@cc.tuat.ac.jp

Abstract In Tokyo University of Agriculture and Technology, we have begun to support for women researching in our university and alumnae, since our support plan for women researchers has been adopted by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology. As one of the activities of the project, we developed a Social Networking Service (SNS) as a tool for alumnae to get information, technological skills, and knowledge for reemployment. In this paper, we introduce our SNS and describe what functions are required for alumnae's re-challenge.

Keyword Supporting Alumnae, Re-challenge, Reemployment, Brush-up, Social Networking Service (SNS), XOOPS

1. はじめに

近年、女性の就業機会は大きく拡大されてきたといわれているが、依然として、出産や育児により離職する女性の割合は多く、またその後の再就職を取り巻く状況にも大変厳しいものがある。厚生労働省の調査によると、第1子を出産する1年前に働いていた女性の約7割が、出産後半年以内に離職しているという報告がある。

また、高学歴の女性の場合も例外ではなく、4年制大学卒業であっても結婚や出産後に離職する女性が多いという報告もある[1]。このような状況を受けて、2005年に内閣府男女共同参画局のもとに設置された「女性の再チャレンジ支援プラン」[2]を筆頭に、現在、再就職を希望する女性へのブラッシュアップ（知識や技術の磨き直し）支援や、出産・育児などで離職した女性

表 1. 主な女性の再チャレンジ支援サイト

運営機関	サイト名	内容
内閣府男女共同参画局	再チャレンジ応援サイト[4]	再就職、在宅就業、スキルアップ支援を行っている機関の総合案内
独立行政法人 国立女性教育会館	女性のキャリア形成支援サイト[5][6]	再就職やキャリアアップに関する事例（ロールモデル）紹介、学習支援機関の案内
財団法人 女性労働協会	女性と仕事の未来館[7]	電話や e-mail によるキャリアカウンセリング、再チャレンジ支援機関の案内、情報提供
21 世紀職業財団	再就職サポートサイト[8]	就職準備から就職活動までを学ぶ e-Learning、再就職準備の情報提供

が円滑に再就職できるような支援など女性の再チャレンジ支援が行われ始めている。

国立大学法人 東京農工大学（以下、本学）においても、文部科学省の「女性研究者支援モデル育成」事業[3]に提案した「理系女性のエンパワーメントプログラム」が採択されたのを受けて、本学の女性卒業生に対する再チャレンジ支援を開始している。大学において、このような女性卒業生支援の体制を設けることで、女性の理想的な就業スタイルを少子社会へ提示できるとともに、卒業生や在學生に「この大学で学んでよかった！」と実感してもらえ、大学の価値の向上が期待できる。

卒業後地方に居住する女性卒業生や、育児中の多忙な女性卒業生に対しても平等に支援活動を行うためには、その活動を Web 上で行うのが効率的である。現在、Web 上で行われている代表的な女性の再チャレンジ支援活動を表 1 に示す。これらのサイトでは主に、再チャレンジ支援機関の案内や情報提供が多く、支援対象者は各種機関から提供される情報を閲覧するという形態が殆どである。

一方、我々は単に大学から女性卒業生に対し再チャレンジ支援の情報提供を行うだけでなく、母校という枠組みを利用し、女性卒業生同士につながりを設け、互いに再チャレンジに関する情報提供や情報交換が行える「場」を提供することを目的とした。そして、この目的を達成するには、現在 Web 上でのコミュニケーション手段として注目されている SNS が適しているのではないかと考え、これを利用した女性の再チャレンジ支援 SNS 「農工大 SNS」を構築した。

以下、2.では SNS について簡単に説明し、それを大学における女性卒業生支援に用いることのメリットを述べる。次に、3.では無償で配布されている代表的な CMS である XOOPS を用いて構築した「農工大 SNS」の内容について紹介する。次に、4.では「農工大 SNS」の運用状況と女性卒業生に対して行ったアンケート結果を元に、女性卒業生への「再チャレンジ支援」としてどのような機能が望まれるか、今後の課題も含めて検討する。最後に 5.でまとめる。

2. 女性卒業生支援を目的とした SNS

2.1. SNS

SNS とは、友人関係や仕事関係など「人と人とのつながり」に重点を置き、あらゆる社会的関係を Web 上で構築し、更なる人間関係の構築を促進するサービスである[9]。一般に、国内の多くの SNS では、「会員登録制」を設けており、登録しているユーザ以外は其中的のコンテンツを閲覧できない。また、既に利用している人からの招待状がなければ会員登録できない「招待制」を設けており、実名での利用が推奨されている。このように情報交換が可能な利用者を限定し、「匿名性」を排除することで、信頼性の高いコミュニティを提供することができるため、不特定多数に情報が公開されるブログや掲示板サービスとは異なる密接なコミュニケーションが可能になる。

2.2. SNS の運用例

現在、SNS は急速に普及しており、世界最大の SNS である「MySpace」の会員数は 1 億人を超え、国内最大の SNS である mixi では 2007 年 5 月 20 日までに 1,000 万人以上の会員を得ている。このように巨大化した SNS を利用する人がいる半面で、近年、「人とのつながり」をより密接にすることを旨とした小規模な SNS が提案されている[10]。小規模な SNS の一つとして、我々の取り組みと同様に、大学をひとつの単位とした SNS の運用がいくつかの大学でスタートしている。これらは主に在校生に対するコミュニケーションサービスやオンラインキャンパスとして、講義情報のレビューや大学近くのグルメレビューなど大学生活に必要な情報を中心に、幅広い学生間の交流に用いられている。

2.3. 女性卒業生支援を目的とした SNS

我々は、SNSの「人と人とのつながり」をサポートするという特徴を利用し、女性卒業生と大学、及び、女性卒業生同士をつながりを受け、自由な情報交換を可能にする。すなわち、大学から女性卒業生に職場復帰やブラッシュアップに関する情報を提供するだけでなく、女性卒業生が自由に情報交換を行える場を設け、そこで、就業中の女性卒業生から求人中の女性卒業生に対する就職情報の提供や、女性卒業生同士で再就職やブラッシュアップ情報を自由に交換し合う。また、意見や情報交換の内容を出産や育児、介護にまで広げることで、それらに対して悩みを抱える女性への支援も行うことができる。

このようにすることで、情報提供者を大学だけにする場合に比べ、提供できる情報量は飛躍的に増加し、女性卒業生同士の関係も密接になることが期待できる。特に、「信頼」や「安心」という特徴は、再就職を希望する女性に就職情報を提供する場合などある程度の信頼性が重視される場面に適している。また、出身校という限定された枠組みの中でネットワークを構築することで、全く知らないユーザ間にも予め共通のつながりが設けられているため、情報交換や新たなつながりが構築し易いという効果もある。

本提案と同様に大学の卒業生を対象とした SNS として代表的なものに、東京大学のベンチャー企業が運営している東大 OB ネットがある [11]。我々が利用者を女性だけに限定するのに対し、こちらの方は、全ての卒業生を対象としている。利用者を女性だけに限定することで、依然として女性に負担が多い育児や家事など女性ならではの問題に対し、より活発に意見交換が行われるのではと期待する。

3. 女性卒業生支援 SNS 「農工大 SNS」

3.1. 「農工大 SNS」の要件

我々は、女性卒業生支援 SNS 「農工大 SNS」を構築するにあたり、前章で述べたことも含め、以下に示す 4 つの要件を満たすように設計した。

- (1) 女性卒業生が安心して情報の取得・交換ができるようなシステムの信頼性が確保可能
- (2) 大学から女性卒業生に対し情報提供が可能



図 1. 「農工大 SNS」のトップページ

- (3) 女性卒業生間でのつながりが構築でき、互いに情報交換が可能
- (4) 育児などで多忙な女性卒業生への配慮
- (5) 女性卒業生に適宜ヒアリングを行い、その結果に基づいて容易に機能の追加などのカスタマイズが可能

我々は、これらの要件を満たすものとして、PHP で書かれたコミュニティサイト構築用のオープンソース：XOOPS(eXtensible Object Oriented Portal System)を利用した [12]。

3.2. 「農工大 SNS」の基盤

現在、SNS を構築するための最も代表的なオープンソースは OpenPNE [13] であり、2.2. で述べた小規模な SNS は主にこれを用いて構築されている。しかし、これは要件 (5) に対して課題が残る。一方で、XOOPS は必ずしも SNS の構築に特化したものではないが、OpenPNE に比べ、モジュールによる機能追加の手法が確立しているため、機能の拡張が容易にできる。これまで女性支援を目的とした SNS というのは事例がなく、また、卒業生を対象としているため、事前に必要な機能についてのヒアリングを行うことは困難である。そこで、運用を通じて女性卒業生からの意見を聞き、逐次機能拡充を行っていくという方針で、要件 (5) を満たすものとして、今回は XOOPS を採用した。

我々は、3.1. で述べた要件を満たすように、XOOPS の各種モジュールを用いて「農工大 SNS」を構築した (図 1)。インストールしたモジュール及び、各モジュールの機能とその詳細を表 2 に示す。

XOOPSには、モジュール単位で容易に機能の追加ができるという特徴の他に、登録ユーザをグループ毎に分類し、モジュール毎に各グループのアクセス権を指定できるという特徴がある。我々はこの機能を利用し、ユーザグループを、非登録ユーザである「ゲスト」、「女性卒業生」、「農工大 SNS」の運用に関わる「学内教職員」、「サイト管理者」に分類し、モジュール毎に権限を設定した。まず、図1に示すように、利用方法、利用規約、問い合わせなどを除いて、ゲストユーザ以外は全てのコンテンツにアクセスできないように設定し、サイトの信頼性を高めた。また、要件(2)に対応する機能では、記事の投稿や掲載権限を「学内教職員」、「サイト管理者」に付与し、「女性卒業生」は閲覧、及び、コメントの書き込みのみできるように設定した。一方で、要件(3)に対応する機能では、「女性卒業生」も「学内教職員」も同等の権限を与えている。この機能を利用することで、将来的に本学に在籍する女子学生をユーザとして登録した場合も、在校生／卒業生それぞれの目的に応じて利用できる機能が切り分けられるとともに、就職情報に関して在校生から卒業生に相談したい場合など、一部の機能のみ両者が交流できる場として用いることもできる。「農工大 SNS」では各要件に対応したモジュ

ールの他に、サイトのセキュリティ強化のためのモジュール(protector)や、サイトマップの自動生成(sitemap)、検索(search)、アクセスカウンタ(logcounterX)なども設置している。

なお、2007年6月20日付けでXOOPSの最新安定バージョンXOOPS Cube Legacy2.2.1が公開されているが、モジュールの互換性などの問題から、本研究ではXOOPS2.0.16aを使用した。

3.3. XOOPSの主なカスタマイズ項目

XOOPS及び、そのモジュールを用いることにより、3.1.で述べた要件はある程度満たすことができるが、利用目的に応じて適宜XOOPSのコア機能、モジュールをカスタマイズした。以下では、主な変更点を述べる。

3.3.1. 認証を用いた新規登録

多くのSNSでは、「招待制」として、既に登録しているユーザから紹介があれば登録できるという形態をとっている。一方、XOOPSのユーザ登録機能としては、誰でも自由に登録できる「新規登録機能」と、管理者権限でユーザ登録を行う2通りの方法が用意されている。この「招待制機能」や「新規登録機能」は、より多くのユーザを確保し易いというメリットがあるもの

表2. 「農工大 SNS」の機能一覧（目的の各番号は3.1.の要件の番号に対応）

目的	機能	詳細	モジュール
(1) 信頼性の確保	新規登録	ユーザID、パスワードによる認証を用いた登録	xoops コア
	ユーザ認証	ユーザID、パスワードによる認証	xoops コア
(2) 大学からの情報提供	お知らせ	女性支援を目的とした学内のイベントの案内	bulletin
	求人情報	学内教員や女性卒業生から寄せられた求人情報	news_embed
	女性センターのブログ	学内の様子や本学女性キャリア支援・開発センターの活動などを学内教員が掲載	weblog
	ブラッシュアップ	再就職や転職に役立つ情報を掲載	pico
(3) 女性卒業生間のつながりの構築	メンバー検索	卒業後音信普通の友人検索、自身のキャリアが類似する女性卒業生の発見に利用	xoopsmembers
	マイページ	実名、卒業学科、卒業年度、学位などのプロフィール紹介（※ユーザ毎のブログ機能は無い）	xoops コア personal
	プライベート・メッセージ	「農工大 SNS」の中で、気軽にメッセージのやり取りが可能	xoops コア
	卒業生のコミュニティ	再就職やブラッシュアップ情報、育児相談など、女性卒業生同士で自由に意見交換できる掲示板	newbb_fileup
(4) 多忙な女性への配慮	更新の自動通知	新着情報を自動的にメールで登録者に通知	xoops コア
	メールマガジン	「農工大 SNS」へのログインが遠ざかっているユーザに対する連絡手段	xoops コア
(5) ヒアリング	アンケート	定期的を実施し、機能の改良、拡充に利用	bmsurvey

の、今回のように利用者を本学女性卒業生に限定したいという場合には適していない。

一方、XOOPSの新規登録機能を用いずに、管理者権限で全ての女性卒業生を登録した場合、予めSNSの利用者を限定することができるが、通常は新規登録時などに利用者が登録していたメールアドレスの情報を取得することができなくなる。本学同窓会は、卒業生の住所などの情報は保有しているが、e-mailアドレスは保有しておらず、表2に示すXOOPSの「更新の自動通知機能」や「メールマガジン」等を利用するためには、これらの情報は事前に取得しておく必要がある。

そこで我々は、予めユーザ情報管理用データベースに新規登録に必要なユーザID、パスワードを女性卒業生毎に個別に登録し、ユーザID、パスワードによる認証が成功した場合のみ、新規登録を受け付けるようにXOOPSの新規登録機能をカスタマイズした。また、新規登録を完了していないユーザはSNSへのログインができないように設計し、SNSの利用を望んでいない女性卒業生にも配慮した。なお、このユーザID、パスワードは本学同窓会の名簿を元に、女性卒業生宛に郵送にて通知した。

3.3.2. 実名によるプロフィールの表示と公開／非公開の選択

XOOPSのプロフィールには、ユーザの実名(本名)を登録することができるが、この情報は各ユーザが変更可能であり、また記事の投稿などを行った際は、本名ではなく、ユーザIDが投稿者名として表示される¹。

これに対し我々は、女性卒業生が自身の発言に責任をもってもらい、安心して信頼性の高いコミュニティを形成するために、プロフィールや全てのモジュールの投稿者表示画面で、利用者名がすべて実名で表示されるように変更した。

また、女性卒業生同士が、お互いのことを発見できるように、XOOPSのプロフィール表示機能、及び、ユーザ情報管理用データベースをカスタマイズし、実名、卒業学科や年度、学位などの情報を予めプロフィールとして登録した。なお、氏名(実名)、卒業年度、学位などの情報は一般ユーザからは変更不可に設定している。

¹ モジュールの中には、投稿者名に本名を表示できるものもある。

このように利用者の詳細情報の表示、登録を行う反面、その情報を他の登録者に表示させたくないユーザへの配慮として、プロフィールの公開／非公開機能を追加した。

以上のプロフィール項目の変更にあわせ、表2に示すメンバー検索機能についても、検索キーワードの項目をカスタマイズした。また、プロフィールの非公開を選択したユーザは、メンバー検索機能を使用した際も、検索結果に表示されないようにした。

3.3.3. その他

その他に、XOOPSのコア機能として用意されているプライベート・メッセージに送信箱を追加するなどの改良を行い、XOOPSをSNSとして用いる際の機能向上を図った。また、利用者が納得のもとで機能拡充を行うために、登録ユーザに対してもアンケート結果が表示されるようにアンケートモジュールを変更した。これに加え、アンケートの回答回数指定や自動終了機能、XOOPSグループによるアンケートのアクセス権の付加機能などを追加した。なお、3.3.2で述べたように、他の機能において、ユーザの書き込みが実名で表示されるのに対し、より積極的な意見を聞くために、アンケート機能のみ既存のまま匿名で回答ができるようにしている。

4. 運用状況とヒアリング調査

4.1. 「農工大SNS」の利用対象者

「農工大SNS」の利用対象者は、1960年から2005年に本学の学部、修士、博士課程のいずれかを卒業した女性卒業生6,976名である。なお、この中には、本学の学部卒業後、修士課程や博士課程に在籍する在校生も利用者として含まれている。また、この他に、学内からの情報を女性卒業生へ伝えるため、「農工大SNS」の運用に関わる学内の教職員も利用者として登録した。

4.2. 「農工大SNS」の運用状況

「農工大SNS」は、2007年3月から運用を開始し、女性卒業生にユーザIDとパスワードを発行して登録を呼びかけたところ、2007年8月時点で約380人の登録があった。

現在までに、無償(ボランティア)を含む求人情報が計6件寄せられており、うち学内教員から寄せられた1件を除いては、全て女性卒業

生から提供された情報である。また、表2に示す更新の自動通知機能を用いて、新着の求人情報が掲載された場合に即座に通知されるように設定している登録者も多く、登録者の求人情報への感心の高さが伺われた。

一方、ブラッシュアップ情報に関しては、卒業生のコミュニティにて、自身の研究情報に関する書き込みや、再チャレンジに関する相談などが寄せられてはいるものの、まだ積極的に女性卒業生同士で情報交換が行われるには至っていない(この問題については、次節で議論する。)そのため、現在は、本学女性キャリア支援・開発センターの教員をはじめ、「農工大 SNS」の運用に携わる女性教員が、本学女性キャリア支援・開発センター主催のイベントの様子の掲載や、再チャレンジに関する情報提供機関などの紹介を行っている。

また、2.3 で述べたように、再チャレンジ支援以外にも、出産や育児に関する情報交換が行われている。これまでに、保健婦、助産師、看護師の資格をもつ本学卒業生による出産・育児・介護の相談室が卒業生のコミュニティ内に設けられ、出産や育児に関する体験談などが掲載されている。また、女性卒業生からも徐々に育児に関する相談が寄せられており、これに対して、同じく子育て中の女性卒業生や学内女性教員からアドバイスが送られている。

4.3. 「農工大 SNS」の機能に関する調査

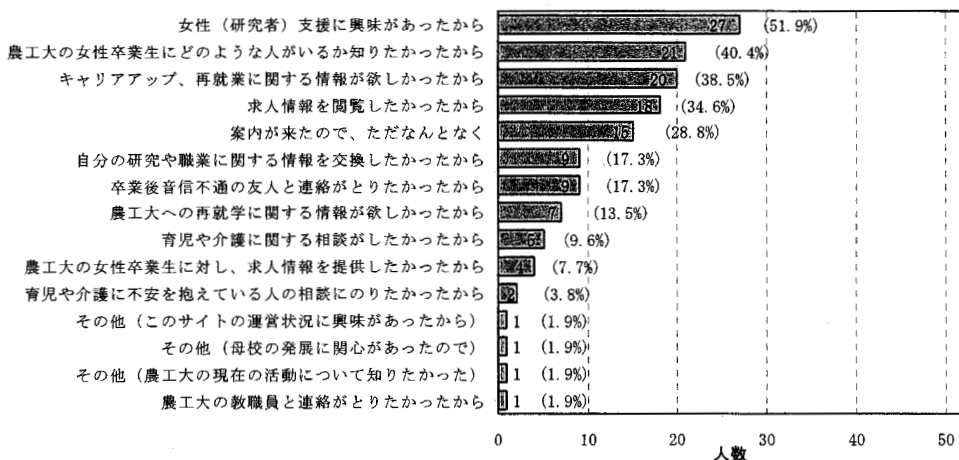
前節で述べた運用状況を踏まえ、女性卒業生がどのような目的で SNS に登録し、どのような機能を望んでいるかを調べ、今後の機能拡充に役立てるため、SNS 内でアンケートを実施した。実施したアンケートのうち、

- (a) 「農工大 SNS」に登録した理由について
- (b) 「農工大 SNS」から提供して欲しい情報について

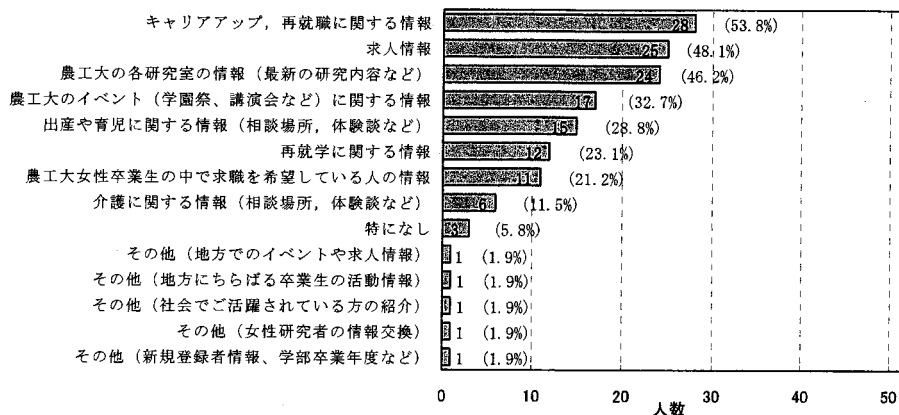
という2つの質問に対する回答結果を図2に示す。アンケート回答者は52名であり、いずれの質問も複数選択可である。

図2の結果から、登録者の女性支援への関心の高さ、及び、多くの女性卒業生がブラッシュアップや求人情報の提供を望んでいることが分かる。「農工大 SNS」は、女性卒業生の再チャレンジを目的に構築したサイトではあったが、この結果からも女性卒業生が実際にそれらの情報提供を望んでいることが確認された。

また、スタートに先駆けて立ち上げた検討会において、女性卒業生から「農工大 SNS」について意見を求めたところ、希望職種に出会っていない20代の女性卒業生から50代の管理職まで、様々な立場から意見が寄せられた。まず、図2(a)において、「農工大の女性卒業生にどのような人がいるか知りたかった。」という登録者の割合が多いことが示すように、SNSに登録している女性卒業生の研究内容や企業の情報の掲載を希望する声が多く聞かれた。具体的には、



(a) SNS の利用目的について



(b) 「農工大 SNS」から提供して欲しい情報について
図 2. 女性卒業生に対して行ったアンケート結果

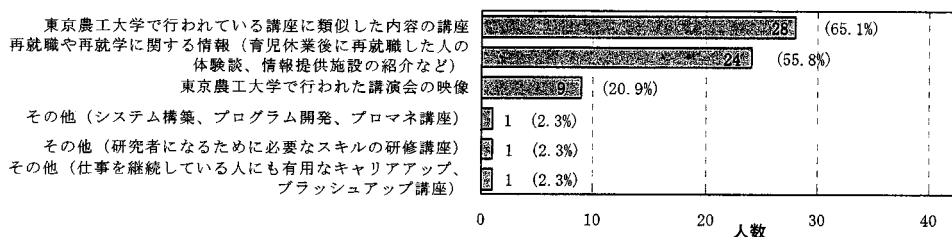


図 3. 「ブラッシュアップ講座としてどのような内容を希望するか」という質問に対する女性卒業生の回答結果

「転職を考えている会社に勤務する女性卒業生に会社の事情を聞きたい」という意見や、「自分の研究に類似する女性卒業生にアプローチをとりたい。」などの意見が寄せられた。また、多くの女性卒業生が求人情報を希望する中で、「求職中の人の専門知識や求める職種などの情報が掲載されていれば、職を提供したい。」という声もあった。3.で述べたように、「農工大 SNS」にも、卒業学科などが分かるプロフィールが用意されており、プライベート・メッセージや卒業生のコミュニティなどで他の女性卒業生にアプローチを取ることができるようにはなっているが、各卒業生が現在携わっている仕事や研究に関する詳細情報を掲載するスペースまでは設けていない。4.2.で述べたように、現状、ブラッシュアップなどに関して女性卒業生同士で積極的に意見交換などが行われたいのは、これが原因の一つではないかと考えられる。

現在、北海道大学などを含む計 8 大学の関係

者を対象に運用されている UCEE 研究者データベースでは、利用者の研究情報などの詳細なプロフィールが登録できるようになっている[14]。これは研究者に特化したものであるが、今後はこれを参考に、研究者に限らず、企業で活躍する女性卒業生や離職中の女性卒業生などそれぞれの特徴が分かるようなプロフィールを掲載・閲覧できるようにする必要があると感じている。

4.4. ブラッシュアップに関する調査

次に、多くの女性卒業生がブラッシュアップ講座の提供を望んでいるという結果を受け、実際に、ブラッシュアップを希望する女性卒業生が、どのような講座を希望しているか調査した。ここでは、女性卒業生 43 名に対し行ったアンケート結果 (図 3) を元に議論する。

図 3 の結果から、多くの女性卒業生が「大学の講義と類似した講座」を希望していることが分かる。先述した検討会においても、「最新の実

験技術や、最先端の内容を提供してくれるような、農工大でなければできない講義があると良い。」という意見や、「プレゼンテーションの技術や論文の書き方などを学べる講座があると良い。」という意見が寄せられた。このように在学生が受講するような内容を希望する女性卒業生が多い反面、図3に示すように、再就職や再就学をする際の準備や実際に経験した人の体験談などをブラッシュアップ講座として求める人も多いことが分かった。検討会の参加者からは、「専門領域ブラッシュアップ型、子育て再復帰型などいくつかのパターンがあるとよい。」という意見も寄せられている。また、ブラッシュアップ実施形態としても、講義の映像やスライドなどを用いた e-Learning 形態を望む声が多かった。以上の結果を踏まえ、今後は、卒業生の状況に応じて多様な講座を選択できる e-Learning 機能を「農工大 SNS」に導入することを積極的に検討していきたい。

5. まとめ

本稿では、「信頼性」の高い環境下で「人と人とのつながり」を構築するという SNS の特徴が、大学から女性卒業生に対し再就職やブラッシュアップの支援を行う場として、さらには、女性卒業生同士でその情報を交換する場として適しているのではないかと考え、女性卒業生の再チャレンジ支援を目的とした「農工大 SNS」を構築した。

2007年3月より運用を開始したところ、女性卒業生から何件か求人情報が寄せられ、育児相談やそれに対する回答などの情報交換は行われてはいるものの、女性卒業生の間でブラッシュアップに関する情報交換を行うことに関してはいくつか課題が残された。これについて、女性卒業生にヒアリング調査を行ったところ、現在、離職中の女性や、就業中の女性など女性卒業生の就業状況に応じて、別途詳細なプロフィール揭示スペースを設置する必要があると感じた。また、Web上でブラッシュアップ講座を受講したいという要望も多く、e-Learning機能の必要性も感じられた。さらに、希望する講座の内容も、先端的な講座から、再就職者の体験談など、ユーザの状況に応じて多様であることが分かった。今後はこれらの点を踏まえた機能改良に取り組むとともに、本学に在籍する女子学生も利

用者として登録し、卒業生と在校生の交流や就職に関する情報交換などの利用について模索していく。

謝 辞

本研究は、文部科学省 2006 年度科学技術振興調整費による新規課題「女性研究者支援モデル育成」により実施されたものである。また、本研究に関して貴重なご意見を頂いた本学女性キャリア支援・開発センターの岩渕祐子博士、鍋嶋絵里博士、星野明香女史及び、同センター運営委員、小委員会委員各位に感謝する。

文 献

- [1] 笹川あゆみ, “IT を利用した大卒女性の再就業：在宅ワークの可能性”, *メディア教育研究*, Vol.1, No.2, pp.181-190 (2005).
- [2] 内閣府男女共同参画局, “女性の再チャレンジ支援プラン”, <http://www.gender.go.jp/e-challenge/> (2005).
- [3] 文部科学省, “科学技術振興調整費 女性研究者支援モデル育成”, http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/koubo/06060127/002.htm (2006).
- [4] 内閣府男女共同参画局, “女性いきいき応援ナビ”, <http://www.gender.go.jp/re-challenge>
- [5] 国立女性教育会館, “女性キャリア形成支援サイト”, <http://winet.nwec.jp/career/>
- [6] 安達一寿, 青木玲子, 尼川洋子, 大西祥世, 森未知, “女性情報ポータル再構築のための現状分析と機能仕様の設計”, *国立女性教育会館研究紀要* 9号 pp.133-146 (2005).
- [7] 財団法人 女性労働協会 “女性と仕事の未来館”, <http://www.miraikan.go.jp/>
- [8] 21 世紀職業財団 “再就職サポートサイト”, <http://www.saisyuusukusupport.jp/>
- [9] 大向一輝, “SNS の現在と展望—コミュニケーションツールから情報流通の基盤へ—”, *情報処理学会論文誌*, Vol.47, No.9, pp.993-1000 (2006).
- [10] 梅田空大, 富澤真樹, “地域指向型 SNS の提案”, *情報システムと社会環境研究会*, Vol.2006, No.27, pp.69-76 (2006).
- [11] Abraham Group Holdings 株式会社, “東大 OB ネット”, <http://today-ob.net/> (2005).
- [12] XOOBS Cube Project, “XOOBS Cube 日本サイト — Simple, Secure, Scalable”, <http://xoopscube.jp/> (2005).
- [13] 株式会社手嶋屋, “OpenPNE 公式サイト” <http://www.openpne.jp/> (2002).
- [14] 藤野真人, 篠崎和夫, 名取幸和, 太田口和久, “UCEE 研究者データベースのコンセプト”, *情報管理*. Vol. 50, No.5, pp.266-279 (2007).